

6年—Unit 8 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業

1. 単元目標

- ・将来就きたい職業などについて、聞いたり言ったりすることができる。(知識及び技能)
- ・将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを伝え合う。また、将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に語と語の区切りに注意しながら書いたりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・他者に配慮しながら、将来の夢について伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

2. 言語材料

- What do you want to be? I like (animals). I want to be a (vet). I can (play the piano well). I am good at (playing the piano). That's (good). Good luck.
- be, luck, future, 職業 (artist, astronaut, baker, bus driver, comedian, dentist, farmer, figure skater, flight attendant, pianist, pilot, singer, train conductor, zookeeper), chalk
- [既出] 職業, 動作, 動詞の過去形 (went, ate, saw, enjoyed, was), スポーツ, 動物, 飲食物, 状態・気持ち, 身の回りの物, 教科

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。
書くこと	イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

4. 単元計画 (8 時間)

時	目標 (◆) と主な活動 ([I], O) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆職業を表す語を聞いて分かる。</p> <p>○Small Talk : 行きたい国とその理由 【Let's Watch and Think 1】 p.58, 59</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面を見て、知っている職業名を発表し、職業の言い方を知る。 ・映像を見て、分かったことを誌面の口を書く。 <p>【Let's Play】 Pointing Game p.58, 59</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言う職業を聞いて、誌面にある職業の絵をペアでさし示す。 ・指導者のヒントを聞いたりジェスチャーを見たりして、それがどんな職業かを言う。 <p>【Let's Read and Write 2】 ① p.64</p> <p>書く文例 : I want to be (a pilot).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 <p>○単元の終末の活動を知る。</p>	◎職業を表す語を聞いて、それに合う絵をさし示している。<行動観察・振り返りカード点検>
2	<p>◆職業についてまとまった話を聞いて理解したり、就きたい職業を言ったりすることができる。</p> <p>○Small Talk : 行きたい国とその理由 【Let's Chant】 What do you want to be? p.58</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.60</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を見て、分かったことを誌面に記入する。 	◎職業についてまとまった話を聞いて理解し、分かったことを書いている。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検>

	<p>○先生の夢を知ろう。 ・指導者の紹介を聞いたり、指導者の質問に答えたりする。</p> <p>○ペアで伝え合おう。 ・ペアで自分が就きたい職業を言い合う。</p>	<p>ド点検></p> <p>◎就きたい職業を言っている。<行動観察・振り返りカード点検></p>
3	<p>◆将来の夢についての話を聞いて、就きたい職業やその理由が分かる。 ◆就きたい職業とその理由について伝え合う。</p> <p>○Small Talk : 就きたい職業とその理由 【Let's Chant】 What do you want to be? p.58 【Let's Watch and Think 3】 p.60 ・映像を視聴して分かったことを誌面の表に記入する。</p> <p>○Let's Talk ・どんな職業に就きたいか、友達に尋ねたり答えたりする。</p>	<p>◎将来の夢についての話を聞いて、就きたい職業やその理由を書いている。 <行動観察・記述観察・振り返りカード点検></p> <p>◎就きたい職業とその理由について伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検></p>
4	<p>◆得意なこと・できること、不得意なこと・できないことについて、伝え合う。</p> <p>【Let's Chant】 What do you want to be? p.58 【Let's Listen】 p.61 ・音声を聞いて、誰がどんな夢をもっているかを、理由とともに聞き取り、分かったことを誌面表に記入する。</p> <p>○3ヒント・カルタ</p> <p>○Let's Talk ・指導者の紹介を聞いたり、指導者とやり取りしたりする。 ・得意なこと・できること、不得意なこと・できないことについて、ペアで話す。</p> <p>【Let's Read and Write 2】 ② p.64 書く文例 : What do you want to be? I am good at (dancing). I am good at (playing soccer). ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>◎得意なこと・できること、不得意なこと・できないことについて、伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検></p>
5	<p>◆就きたい職業について、理由を含め伝え合う。 ◆就きたい職業について、理由を含め伝え合おうとする。</p> <p>○Small Talk : なりたい職業とその理由 【Let's Chant】 What do you want to be? p.58</p> <p>○先生の夢をもっと知ろう。 ・将来の夢とその理由について、指導者の紹介を聞いたり、指導者とやり取りをしたりする。</p> <p>【Activity】 p.61 ・ペアになって、将来どんな職業に就きたいかを尋ね合う。分かったことを誌面に記入する。</p> <p>【Let's Read and Write 2】 ③ p.64 書く文例 : I want to be a (singer). ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選ん</p>	<p>◎就きたい職業について、理由を含め伝え合っている。<行動観察・振り返りカード点検></p>

	で書き写す。 ○Sounds and Letters (sh)	
6	◆例を参考にして、自分の夢について書く。 【Let's Read and Write 1】 p.62 ・誌面に書かれた Riko のスピーチ原稿を、音声が続いて読む。 ・前時までに書き写した文も参考にしながら、大文字と小文字に気を付けているか、スペースに気を付けているかなどに注意してスピーチ原稿を書く。 ○Let's Read ・班の中でスピーチ原稿を回し読み、大文字と小文字に気を付けているか、スペースに気を付けているかなどについて正しく書けているか確認し合う。 ○Sounds and Letters (th)	◎例を参考にして、自分の夢について書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉
7	◆例文などをもとに、語と語の間隔や大文字と小文字の使い分け、符号などに注意しながら、自分の将来の夢について、理由を含めて書く。 ◆例文などをもとに、自分の将来の夢について、理由を含めて書こうとする。 ○Let's Talk ・前時に書いた思い出を自分で読んでみる。 ・聞き手は感想の言葉を付け加えたり、質問をしたりしながら聞く。 ○Let's Write ・指導者から配布される清書用の紙に、スピーチ原稿を清書する。 ・スピーチ内容と合う絵も描き入れる。	◎下書きや例文などをもとに、語と語の間隔や大文字と小文字の使い分け、符号などに注意しながら、自分の将来の夢について、理由を含めて書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉
8	◆将来の夢について書かれた原稿を読み、内容が分かる。 ○Let's Read ・指導者から配布されたクラスの中の誰かのスピーチ原稿を読み、本人だと思ふ人へ戻す。 ・内容について、コメントやアドバイスを書く。 【Let's Watch and Think 4】 p.64 ・映像を見て、働く人たちの話から、分かったことや感じたことを発表し合う。 【STORY TIME】 p.65 ・デジタル教材からライム (押韻) の単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。 ・音声の後に続いて言う。	◎将来の夢について書かれた原稿を読み、書き手を見つけている。〈行動観察・振り返りカード点検〉

<p>6年 Unit 8—Lesson 1 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業 1/8 時間</p> <p>目 標 職業を表す語を聞いて分かる。</p> <p>準 備 教師用カード (国旗, 職業), デジタル教材, 児童用テキスト, 写真やイラストなどの視覚資料, ワークシート (Unit 8-1), 振り返りカード</p>
--

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 <p>○Small Talk : 行きたい国とその理由 S1: Where do you want to go? S2: I want to go to Hawaii. S1: You want to go to Hawaii. That sounds nice. Why? S2: I like swimming. And I want to see the beautiful sea. How about you? Where do you want to go? …</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し, 個別に数名の児童にも挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。 ・指導者が質問して, ペアで対話をさせる。ここでは, これまでの復習を意図して, 行きたい国とその理由が話題である。 ※Small Talk の指導の具体や発話例については, 「研修ガイドブック」 p.84, 85 を参照。 	教師用カード (国旗)
15分	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.58, 59</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面を見て, 知っている職業名を発表し, 職業の言い方を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・映像を見て, 分かったことを口を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像を視聴させる前に, 誌面を見せながら, 英語で知っている職業名を発表させる。文字を頼りに読んでみようとする児童がいわば称賛し, なぜそのように読もうと思ったのかを聞いてみることで, 文字の音を意識させることにつながる。 ・児童の答えやつぶやきを拾いながら, 職業の言い方を発音して聞かせたり, デジタル教材を使って聞かせたりして出会わせるようにする。 ・映像を視聴させる。児童の実態に応じて数回視聴させ, 児童に分かったという達成感をもたせるようにする。 ・単なる聞き取りの練習にならないようにするために, 音声を聞かせる前に内容を予想させるとよい。例えば, 登場人物の名前 (Anastasia, Muhammad) だけを伝えておき, Where is Anastasia from? Can you guess? What is Anastasia's dream? Can you guess? などと問いかけることができる。 T: Let's listen to the talk. 	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (職業)
<p>Hello. My name is Anastasia. I'm from Russia. I want to be a singer in the future. It's cool! I sometimes go to a concert hall. It's near my house. I enjoy singing songs and listening to music with my friends!</p> <p>Hello. My name is Muhammad. I'm from Egypt. I want to be a pilot. I want to visit many countries around the world! I'm good at speaking English. I want to talk with the people around the world. Thank you.</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> ・質問に答える形で話の内容を確認する。また, 質問に答えて, 自分の気持ちや考えを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単なる答えの確認にならないよう, 児童と職業を題材にやり取りをする。また, 指導者の質問に答える形で答えを確認させる。 	
<p>T: Where is she from? Canada? Great. Anastasia is from Russia. What's Anastasia's dream? Yes, she wants to be a singer. What's your dream? What do you want to be? Your dream, a singer? Do you want to be a singer? She enjoys ...? Singing songs? Yes, that's right. Do you like singing songs? Me, too. I like singing songs, too. And one more. She enjoys ...? Good. Listening to music. With...? Yes, with her / Anastasia's friends. Do you like listening to music? Me? Yes, I like listening to music.</p>			

10分	<p>【Let's Play】 Pointing Game p.58, 59</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言う職業を聞いて、誌面にある職業の絵をペアでさし示す。 ・指導者のヒントを聞いたりジェスチャーを見たりして、それがどんな職業かを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にポインティング・ゲームをして、進め方を理解させるようにする。 ・指導者が言う職業名を繰り返し、誌面にある絵をさし示すよう指示する。 ・最初は単語だけで言い、次に I want to be a ~. と文で言うようにする。デジタル教材で音声を聞かせてもよい。 ・本活動は、第2時にも位置付けられている。児童の実態によっては、第2時で I want to be a ~. と文で言わせることも考えられる。 <p>T: I want to be a ...singer!</p> <p>職業名 : singer, vet, teacher, bus driver, florist, cabin attendant, dentist, baker, doctor, cook, soccer player, artist, zoo keeper, comedian, fire fighter, farmer, nurse, pilot, astronaut など</p> <p>◎職業を表す語を聞いて、それに合う絵をさし示している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポインティング・ゲームの続きで、誌面にある各職業のイラストにあるものやジェスチャーをヒントとして言う。その職業は何かを尋ねる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ヒント例</p> <p>pilot: a blue cap, air plane, in the sky</p> <p>baseball player: No.3, a red cap, a bat</p> <p>comedian: microphone, two persons, a stage</p> <p>artist: many colors, a paint blush, a picture</p> <p>fire fighter: water, fire, a uniform など。</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (職業)
5分	<p>【Let's Read and Write 2】 ① p.64</p> <p>書く文例 : I want to be (a pilot).</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。 	<p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What do you want to be? Please choose the word(s) from the word box and complete the sentence.</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 8-1)
2分	<p>○単元終末の活動を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の終末では、将来の夢や就きたい職業についてスピーチすることを確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>*写真は、「デジタル教材」→「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者は、自分自身の将来の夢やしたいことについて書いたものを提示するなどして、単元終末の活動への見通しや意欲をもてるようにする。 <p>※写真やイラストなど、視覚資料を用意するとよい。</p>	写真やイラスト などの視覚資料
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

<p>6年 Unit 8—Lesson 2 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業 2/8時間</p> <p>目 標 職業についてまとまった話を聞いて理解したり, 就きたい職業を言ったりすることができる。</p> <p>準 備 教師用カード (職業), デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード</p>

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10分	<p>・挨拶をする。</p> <p>○Small Talk : 行きたい国とその理由 対話例 : (第1時と同様)</p>	<p>・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。</p> <p>・本時のめあてと流れを児童と確認する。</p> <p>・指導者が質問をして, ペアで対話をさせる。ここでは, これまでの復習を意図して, 行きたい国とその理由が話題である。</p> <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については, 「研修ガイドブック」 p.84, 85 を参照。</p>	
5分	<p>【Let's Chant】 What do you want to be? p.58</p>	<p>・まず, チャンツを聞かせ, どのような音が聞こえたかを発表させる。聞こえた語を児童と確認してから, 一緒にチャンツを言う。</p>	デジタル教材
<p>What do you want to be in the future? Let's close your eyes and think about it. I want to be a dancer. I can dance well. (Student 1) I want to be a singer. I can sing well. (Student 2) I want to be a teacher. I like children. (Student 3) I want to be a scientist. I like science. (Student 4) I want to be a writer. I like reading and writing. (Student 5) What do you want to be in the future? Let's close your eyes and think about it.</p>			
10分	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.60 1回目 Laksh 2回目 Christina ・映像を見て, 分かったことを□に書く。</p>	<p>・Let's Watch and Think 2 は第2時, Let's Watch and Think 3 は第3時に行く。どちらも, 外国の子供の夢を聞いて分かったことを書くという活動である。</p> <p>・第1時の Let's Watch and Think 1 で行った指導と同様, 音声を聞かせる前に内容を予想させる。</p> <p>T: Let's listen to the talk.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
<p>Hello. My name is Laksh. I'm from India. I want to be a movie director in the future. I like comedy movies. Many people in India like movies. Fantastic dream? See you!</p> <p>Hello. My name is Christina. I'm from the Philippines. I want to be a fruit shop owner. Our bananas are so delicious. Please try some! Thank you.</p>			
		◎職業についてまとまった話を聞いて理解し, 分かったことを書いている。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検>	
15分	<p>○先生の夢を知ろう。</p> <p>・指導者の紹介を聞いたり, 指導者の質問に答えたりする。</p>	<p>・指導者は, 自分自身が6年生の時に就きたかった職業とこれからやってみたい職業を, 黒板に年齢などの数字を書きながら紹介する。一方的に紹介をするのではなく, 将来の夢を題材に児童とやり取りをするようにする。</p>	デジタル教材 教師用カード (職業)

	<p>○ペアで伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで自分が就きたい職業を言い合う。 	<p>T: Listen to me. About my dream. Now I'm ... years old. (黒板に年齢の数字を書く) I'm a teacher. (数字の下に「教師」のカードを掲示) I was 12 years old. (黒板に12と書く) My dream was a singer. (「12」の下に「歌手」のカードを掲示) In the future, I want to be a farmer. (「歌手」カードの隣に「農場主」のカードを掲示) What do you want to be? Do you want to be a singer / teacher / farmer? (黒板に掲示したカードを示しながら) (数名の児童に尋ね、答えさせる) You want to be a teacher! Great. Not a farmer. What do you want to be? (児童の答えやつぶやきを拾いながら) You want to be a I want to be a farmer. You want to be a I want to be a farmer. 繰り返しこれらの表現を聞かせ、児童が I want to be ~. と答えられるようにする。 I want to be a farmer. Why? I like nature. I like cooking. I want to cook my vegetables.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアになり、就きたい職業を言い合うよう伝える。 ◎就きたい職業を言っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

<p>6年 Unit 8—Lesson 3 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業 3/8 時間</p> <p>目 標 将来の夢についての話を聞いて、就きたい職業やその理由が分かる。 就きたい職業とその理由について伝え合う。</p> <p>準 備 デジタル教材, 児童用テキスト, 振り返りカード</p>
--

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
10分	<p>○Small Talk : 就きたい職業とその理由</p> <p>S1: I want to be a nurse. S2: You want to be a nurse. Good. Why? S1: My mother is a nurse. How about you? …</p>	<p>・指導者が質問をして、ペアで対話をさせる。ここでは、本単元との関連を意図して、就きたい職業とその理由が話題である。</p> <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」 p.84, 85 を参照。</p>	
5分	<p>【Let's Chant】 What do you want to be? p.58</p>	<p>・まず、チャンツを聞かせ、どのような音が聞こえたかを発表させる。聞こえた語を児童と確認してから、一緒にチャンツを言う。</p>	デジタル教材
<p>What do you want to be in the future? Let's close your eyes and think about it. I want to be a dancer. I can dance well. (Student 1) I want to be a singer. I can sing well. (Student 2) I want to be a teacher. I like children. (Student 3) I want to be a scientist. I like science. (Student 4) I want to be a writer. I like reading and writing. (Student 5) What do you want to be in the future? Let's close your eyes and think about it.</p>			
15分	<p>【Let's Watch and Think 3】 p.60</p> <p>・映像を視聴して分かったことを□に書く。</p>	<p>・指導の仕方や留意点については、第2時の Let's Watch and Think 2 と同様。</p> <p>・映像視聴の流れで、次の児童とのやり取りにつなげる。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
<p>Hello. My name is Rin. I live in China. I want to be a teacher. I like children. I'm good at singing. I want to sing with children. Thank you. What do you want to be, Francis?</p> <p>Bonjour. I'm happy to meet you. My name is Francis. I live in France. I want to be an artist. I love pictures. I'm good at drawing pictures. My father is an artist. His pictures are great. Good dream? Thank you.</p> <p>Everyone, what do you want to be?</p>			
		◎将来の夢についての話を聞いて、就きたい職業やその理由を書いている。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉	
10分	<p>○Let's Talk</p> <p>・どんな職業に就きたいか、友達に尋ねたり答えたりする。</p> <p>S1: What do you want to be?</p>	<p>・映像教材の問いかけに答える形で、児童とやり取りをし、その流れで児童同士でやり取りさせる。</p> <p>T : Hmm... I'm a teacher now, and I want to be a farmer in the future. I want to live in beautiful</p>	

	<p>S2: I want to be a cartoonist. S1: Cartoonist. Sounds nice! S1: What do you want to be? S2: I want to be a soccer player. S1: Nice dream!</p>	<p>nature. T: How about you? What do you want to be? S3: I want to be T : Oh, you want to be Nice dream! How about you, S4? S4: I want to be T : Sounds nice! How about you, S5? Class, let's ask S5, "What ...?" "What do you ...?" Ss: What do you want to be? S3: I want to be ... T : Now, let's talk in pairs about your dream. ◎就きたい職業とその理由について伝え合っている。 <行動観察・振り返りカード点検></p>	
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

<p>6年 Unit 8—Lesson 4 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業 4/8 時間</p> <p>目 標 得意なこと・できること、不得意なこと・できないことについて、伝え合う。</p> <p>準 備 教師用カード (職業)、デジタル教材、児童用テキスト、児童用カード (職業)、ワークシート (Unit 8-2, 8-3)、振り返りカード</p>
--

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
3分	<p>【Let's Listen】 What do you want to be? p.58</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>What do you want to be in the future? Let's close your eyes and think about it.</p> <p>I want to be a dancer. I can dance well. (Student 1)</p> <p>I want to be a singer. I can sing well. (Student 2)</p> <p>I want to be a teacher. I like children. (Student 3)</p> <p>I want to be a scientist. I like science. (Student 4)</p> <p>I want to be a writer. I like reading and writing. (Student 5)</p> <p>What do you want to be in the future? Let's close your eyes and think about it.</p> </div>	・言えるところを言わせ、児童と一緒に言う。	デジタル教材
10分	<p>【Let's Listen】 p.61</p> <p>・音声聞いて、誰がどんな夢をもっているかを、理由とともに聞き取り、分かったことを誌面表に記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>けんた：What do you want to be, Aoi?</p> <p>あおい：I want to be a pianist.</p> <p>けんた：A pianist? Why?</p> <p>あおい：I can play the piano well. I want to have a piano concert in my town.</p> <p>けんた：That's nice! How about you, Satoshi? What do you want to be?</p> <p>さとし：Well, you know I like trains. I want to be a train conductor in the future.</p> <p>あおい：Wow! That sounds interesting. How about you, Kenta? What do you want to be?</p> <p>けんた：I want to be a professional baseball player.</p> <p>あおい：Oh, really? Why?</p> <p>けんた：I like sports. I like Ichiro, too. I want to be a baseball player like him.</p> <p>あおい：Sounds nice!</p> <p>さとし：Good luck, Kenta!</p> <p>けんた：Good luck to you, too!</p> </div>	<p>・登場人物がどんな夢をもっているかを予想させてから聞かせるなど、目的をもって聞くことができるようにする。</p> <p>・3人の登場人物が将来の夢とその理由などを話している音声を聞かせ、分かったことを表に書かせる。</p> <p>T: Let's listen to the talk.</p>	デジタル教材 児童用テキスト
		・登場人物が入れ替わり対話を進めているため、誰の話であるかが分かりにくい場合、音声を適宜止めるなどする。	
10分	○3ヒント・カルタ	<p>T : Are you ready for <i>Karuta</i> game?</p> <p>Ss: Yes!</p>	教師用カード (職業) 児童用カード (職業)
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>3ヒント・カルタの進め方</p> <p>・児童4人ほどでグループになり、机に児童用カード (職業) 1セットを並べ、周りに座る。</p> <p>・全員で指導者に、What do you want to be? と尋ねる。指導者は、ある職業に就きたい理由を、I like ~. I can ~. I'm good at ~. で言う。それを聞いて、児童は該当する職業のカードを取る。「3つ全ての理由を聞いてからカルタを取る」などのルールを設定する。2回目、3回目はカード裏面 (英単語だけのもの) を使用し、段階的に文字に慣れていくようにする。</p> </div>		

<p>ヒント例 ① T : One, two. Ss: What do you want to be? T : I like cooking. I can cook curry. I'm good at cooking <i>miso</i> soup, too. Ss: A cook? T : That's right!</p>	<p>ヒント例 ② T : One, two. Ss: What do you want to be? T : I like arts and crafts. I can draw pictures. I am good at painting pictures, too! Ss: An artist? T : That's right!</p>	<p>ヒント例 ③ T : One, two. Ss: What do you want to be? T : I like vegetables. I can tell vegetables' names. I am good at cooking salad. I want to sell my vegetables. Ss: A farmer? T : That's right!</p>	
<p>12分</p>	<p>OLet's Talk ・指導者の紹介を聞いたり, 指導者とやり取りしたりする。 ・得意なこと・できること, 不得意なこと・できないことについて, ペアで話す。 S1: I can play tennis. I'm good at tennis. I can't swim. I'm not good at swimming. How about you, S2? S2: I can cook <i>okonomiyaki</i>. I'm good at cooking. I can't play the piano. I'm not good at music. S1: I see. Thank you. ・ペアを替えて, 複数回対話をする。</p>	<p>・指導者は, 得意なこと・できること, 不得意なこと・できないことを, 教師用カードを見せながら紹介する。一方的に言うのではなく, 児童がそのことをできるかどうか, 得意かどうかなどを尋ね, やり取りしながら紹介する。 ・その流れで, 次に児童同士でやり取りさせる。児童同士の対話の合間には, 言いたかったけれど言えなかったことはないか尋ねたり, それをどのように言えばよいかグループで話し合わせたりして, より詳しく伝えるための表現を全体に広める。 T : I can play basketball. I'm good at shooting. How about you, S1? Can you play basketball? S1: Yes, I can. T : That's nice. Are you good at basketball? S1: Yes! T : That's great. Then let's talk in pairs. ※対話の前に, 対話する相手の名前をプリントなどに書き, 相手の得意なことやできること, 不得意なことやできないことを予想させるなどすると, 聞き手が目的をもって対話に臨むことができる。その際, 選択肢を与えて○を付けさせるなど, 簡易な方法で予想できるように工夫するとよい。 ◎得意なこと・できること, 不得意なこと・できないことについて, 伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	<p>教師用カード (職業)</p>
<p>5分</p>	<p>【Let's Read and Write 2】 ② p.64 書く文例: What do you want to be? I am good at (dancing). I am good at (playing soccer). ・音声を聞きながら読んだ(言った)後, ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>T: Please listen to the sentences and look at the sentences on the worksheets. Listen to the sentences again and read them. What do you want to be? What are you good at? Please choose the words from the word box and write them down.</p>	<p>デジタル教材, ワークシート (Unit 8-2, 8-3)</p>
<p>3分</p>	<p>・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>

<p>6年 Unit 8—Lesson 5 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業 5/8時間</p> <p>目 標 就きたい職業について、理由を含め伝え合う。 就きたい職業について、理由を含め伝え合おうとする。</p> <p>準 備 教師用カード(職業), 児童用テキスト, デジタル教材, 将来の夢を紹介するのに必要な写真等, ワークシート (Unit 8-4, 8-6), 振り返りカード</p>

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
9分	<p>○Small Talk : なりたい職業とその理由</p> <p>S1: What do you want to be?</p> <p>S2: I want to be a tennis player.</p> <p>S1: You want to be a tennis player. Sounds nice. Why?</p> <p>S2: I like Nishikori Kei. How about you? What do you want to be?</p>	<p>・指導者が質問をして、ペアで対話をさせる。ここでは、本単元との関連を意図して、就きたい職業とその理由が話題である。</p> <p>※Small Talk の指導の具体や発話例については、「研修ガイドブック」p.84, 85 を参照。</p>	
4分	<p>【Let's Chant】 What do you want to be? p.58</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>What do you want to be in the future? Let's close your eyes and think about it.</p> <p>I want to be a dancer. I can dance well. (Student 1)</p> <p>I want to be a singer. I can sing well. (Student 2)</p> <p>I want to be a teacher. I like children. (Student 3)</p> <p>I want to be a scientist. I like science. (Student 4)</p> <p>I want to be a writer. I like reading and writing. (Student 5)</p> <p>What do you want to be in the future? Let's close your eyes and think about it.</p> </div>	・リズム気を付けて、一緒にチャンツを言う。	デジタル教材
7分	<p>○先生の夢をもっと知ろう。</p> <p>・将来の夢とその理由について、指導者の紹介を聞いたり、指導者とやり取りしたりする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>*写真は、「デジタル教材」→「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。</p> </div>	<p>・指導者は、第2時で少し紹介した将来の夢とその理由をもっと膨らませ、教師用カードを見せながら紹介する。一方的に言うのではなく、児童にどのような職業に就きたいか、その理由などを尋ねながら紹介する。</p> <p>T: I want to be a farmer, and I want to live in nature.</p> <p>I like nature. I like cooking. I want to cook my vegetables. How about you, S3?</p> <p>What do you want to be? ...</p> <p>・児童とのやり取りから、「理由」に焦点を当て、児童が伝えたいと思っている表現について、全体で学び合えるようにする。</p>	<p>教師用カード (職業)</p> <p>将来の夢を紹介するのに必要な写真等</p>
10分	<p>【Activity】 p.61</p> <p>・ペアになって、将来どんな職業に就きたいかを尋ね合う。分かったことを誌面の□に記入する。</p> <p>S4: Hi, S5! What do you want to be?</p> <p>S5: Hi, S4! I want to be a bus driver.</p> <p>S4: Sounds good. Why?</p>	<p>・意欲的に取り組めるように、学級で人気が高いと思われる職業ベスト3を予想してからインタビューを始めさせたり、活動後にインタビュー結果を報告させたりするとよい。</p> <p>・インタビューではあるが、就きたい職業だけを尋ね合うのではなく、理由を聞いたり、感想を述べたりなど、これまでの対話活動で大切にしてきた「対話を続けること」「対話を楽しむこと」を、本活動でも大切にするよう伝える。</p>	デジタル教材 児童用テキスト

	<p>S5: I want to go to many places. S4: I see. S5: What do you want to be? S4: I want to be a nurse. S5: Fantastic! Why? S4: I want to help sick people. S5: That's nice! Good luck! S4: Good luck to you, too!</p>	<p>◎就きたい職業について、理由を含め伝え合っている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	
5分	<p>【Let's Read and Write 2】 ③ p.64 書く文例: I want to be a (singer). ・音声を聞きながら読んだ(言った)後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>T: Please listen to the sentence and look at the sentence on the worksheet. Listen to the sentence again and read it. What do you want to be? Please choose the word(s) from the word box and write a sentence. Please also look at Worksheet Unit 8-1.</p>	<p>デジタル教材 ワークシート (Unit 8-4)</p>
5分	<p>OSounds and Letters (sh) ・ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある /ʃ/ で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ・ワークシートの4線の上に sh の文字を書く。</p>	<p>・(時間に余裕があれば) ジングルを聞かせる。(※1) T: Listen to the jingle. Look at the pictures on the worksheet. Please repeat after the jingle. ・サウンド・テニス(※2)をすることを告げる。 T: Let's play Sound Tennis. Think about any words starting with /ʃ/. Now, say the words. ・最初は指導者と児童全員で行い、児童が慣れてきたらペア対抗で行ったり、制限時間を短くしていったりなどするとよい。 ・ワークシートの4線の上に sh の文字を書くよう指示する。 T: Please write the letter 'sh'.</p>	<p>デジタル教材, 児童用テキスト ワークシート (Unit 8-6)</p>
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>

<Sounds and Letters について>

※1 ジングルは、5年生は新教材の誌面及びデジタル教材で扱われており、6年生は新教材のデジタル教材のみに収録されている。

※2 サウンド・テニスとは、学習している音(ここでは /ʃ/)への気付きを高め、既習単語を復習することを目的とした活動である。

サウンド・テニスの進め方

- ① 2つのグループに分かれる。児童の実態に応じて、また、この活動に取り組み始めて間もない頃は、指導者対児童で行うことも考えられる。
- ② 学習している音(ここでは /ʃ/)から始まる単語を考える。
- ③ 学習している音(/ʃ/)から始まる単語を制限時間内に言うことができるように競う。(Five, four, three, two, one, time is up! など指でカウントしながら時間が経つことを伝えるとよい。)
- ④ 制限時間内に単語が言えないグループが負けとなる。

<p>6年 Unit 8—Lesson 6 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業 6/8 時間</p> <p>目 標 例を参考にして、自分の夢について書く。</p> <p>準 備 デジタル教材、児童用テキスト、ワークシート (Uni 8-1~8-5, 8-7), 振り返りカード</p>
--

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
20分	<p>【Let's Read and Write 1】 p.62</p> <p>・誌面に書かれた Riko のスピーチ原稿を、音声が続いて読む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>My dream I want to be an astronaut. I like watching the stars. I study hard. What do you want to be? Thank you.</p> <p style="text-align: right;">Riko</p> </div> <p>・前時までに書き写した文も参考にしながら、次の点に注意してスピーチ原稿を書き進める。</p> <p>* 4線上面にいていねいに書く。</p> <p>* 大文字と小文字に気を付けて書く。</p> <p>* スペース (単語と単語の間) に気を付けて書く。</p> <p>* ピリオドや符号を忘れずに書く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>児童が書く原稿例</p> <p>I want to be a bus driver. My father is a bus driver. I like big cars. Thank you.</p> </div>	<p>・デジタル教材で登場人物 Riko のスピーチを聞かせる。次に、誌面 p.62 の文字を指で追いつながら聞かせる。</p> <p>・ワークシートに書きためた英文や、誌面に掲載されている職業名を表す語などを参考に、スピーチ原稿を書かせる。</p> <p>T: Look at your worksheets. Write about your dream. You can find good hints on your worksheets.</p> <p>◎例を参考にして、自分の夢について書いている。<行動観察・記述分析・振り返りカード点検></p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 8-1~8-5)
15分	<p>○Let's Read</p> <p>・班の中でスピーチ原稿を回し読み、次の点について正しく書けているか確認し合う。</p> <p>* 4線上面にいていねいに書けているか。</p> <p>* 単語の綴りは合っているか。</p> <p>* 大文字と小文字に気を付けて書けているか。</p> <p>* スペース (単語と単語の間) に気を付けて書けているか。</p> <p>* ピリオドや符号を忘れていないか。</p>	<p>T: Look at your worksheet. Let's read the sentences. Let's read your friends' speeches.</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>児童が清書する原稿例</p> <p>I want to be a bus driver. My father is a bus driver. I like big cars. Thank you.</p> </div>	ワークシート (Unit 8-5)

5分	<p>○Sounds and Letters (th)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジングルを1通り聞く。 ・誌面にある /θ/ で始まる単語を見て、発音する。その音で始まる単語を制限時間内に発表し合う。 ・ワークシートの4線上に th の文字を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジングルを1通り聞かせる（時間があれば）。 <p>T: Listen to the jingle.</p> <p>Let's say the jingle together.</p> <p>Look at the pictures on the worksheet.</p> <p>Repeat the words.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サウンド・テニスをすることを告げる。 <p>T: Let's play Sound Tennis.</p> <p>Think about any words starting with /θ/.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は指導者と児童全員で行い、児童が慣れてきたらペア対抗で行ったり、制限時間を短くしていったりなどするとよい。 ・ワークシートの4線上に th の文字を書くよう指示する。 <p>T: Please write the letters, 'th'.</p>	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 8-7)
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、カードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

6年 Unit 8—Lesson 7 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業 7/8時間

目 標 例文などをもとに、語と語の間隔や大文字と小文字の使い分け、符号などに注意しながら、自分の将来の夢について、理由を含めて書く。

例文などをもとに、自分の将来の夢について、理由を含めて書こうとする。

準 備 児童用テキスト、ワークシート (Unit 8-5: 前時に書いたワークシート, 4線: 清書用), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
20分	<p>○Let's Talk</p> <p>・前時に書いた将来の夢を自分で読んでみる。</p> <p>・聞き手は感想の言葉を付け加えたり、質問をしたりしながら聞く。</p> <p>児童の原稿例</p> <p>I want to be a vet. I like animals. I want to help sick animals. Thank you.</p> <p>聞いた後のコメント例</p> <p>S1: You want to be a vet. That's good. What animals do you like? S2: I like dogs. S1: You like dogs. I see. Do you have a dog? ...</p>	<p>・できる限り全員のスピーチが聞けるようにする。</p> <p>・学級の人数によっては、グループではなく、学級全体の前で発表させてもよい。</p> <p>・原稿はもってもよいが、話すときは聞き手の方を見るよう指導し、原稿を読む活動にならないようにする。</p> <p>・次時では、クラスメートの原稿を読んで誰の原稿か当てるといふ活動を行う。そのため、この段階では名前を書かないように指示する。</p>	前時に書いたワークシート (Unit 8-5)
20分	<p>○Let's Write</p> <p>・ワークシート (4線) に、スピーチ原稿を清書する。</p> <p>・スピーチ内容と合う絵も描き入れる。</p>	<p>・次時に行う Let's Read のために、自分の名前は書かないよう指示する。</p> <p>・どの児童も共通して書く部分については、なぞり書きができるようにあらかじめ薄文字で書かれたものも準備するなど、児童の実態に応じて個別の支援をするとよい。</p> <p>・清書したものを回収する。</p> <p>◎下書きや例文などをもとに、語と語の間隔や大文字と小文字の使い分け、符号などに注意しながら、自分の将来の夢について、理由を含めて書いている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>	ワークシート (4線: 清書用)
3分	<p>・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

6年 Unit 8—Lesson 8 単元名 What do you want to be? 将来の夢・職業 8/8時間

目 標 将来の夢について書かれた原稿を読み、内容が分かる。

準 備 児童用テキスト、デジタル教材、ワークシート（前時に清書したスピーチ原稿）、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
14分	<p>OLet's Read</p> <p>・指導者から配布されたクラスの中の誰かのスピーチ原稿を読む。</p> <p>・内容について、コメントやアドバイスを書く。(英語でも日本語でもよい)</p> <p>・誰のスピーチ原稿なのかを考え、やり取りしながら本人だと思う人へ戻す。</p> <p>S1: Hello, S2. Is this your speech (draft)? S2: Yes! (受け取って) Thank you for your comment!</p> <p>S1: Hello, S2. Is this your speech (draft)? S2: No. S1: Oh, sorry.</p>	<p>・清書したスピーチ原稿を集め、本人の手元に自分の原稿が戻らないよう、児童の原稿を無作為に配布する。</p> <p>・配布した原稿を読み、その内容から誰のものかを予想させ、本人だと思う人に渡すように指示する。</p> <p>・最終的には、再度全員の原稿を集め、クラスの仲間の夢が詰まった「あこがれガイドブック」をつくり、後日、児童全員に渡すとよい。また、教室掲示として使うこともできる。</p> <p>・本活動が終わったら、名前を書かせてから提出させる。</p> <p>◎将来の夢について書かれた原稿を読み、書き手を見つけている。<行動観察・振り返りカード点検></p>	ワークシート (前時に清書したスピーチ原稿) またはそのコピー
15分	<p>[Let's Watch and Think 4] p.64</p> <p>・映像を見て、働く人たちの話から、分かったことや感じたことを発表し合う。</p>	<p>・本活動は単元終末の第8時に位置付けられている。第7時までには、児童自身を含め子供たちの夢を話題にしてきたが、本活動では、大人も夢をもって日々生きていることを子供たちに理解させる。</p> <p>・聞き取らせる英文には未習語も使われているが、6年生の終盤の「聞くこと」の言語活動であるため、児童には「どこまで聞き取れるかな」「ペア(グループ)のみんなで、分かったことを交流し合い、3人の大人の夢を理解しよう」などと呼びかけ、チャレンジする気持ちをもって聞かせるようにする。児童の「なんとなく分かった」という気持ちを大切に、指導者が全文の意味を解説するなどということがないよう留意する。また、難しい語彙等が含まれているので、今は分からなくても、中学校で英語を学び、卒業するときにはすべて分かるようになっていると中学校での外国語学習に期待する気持ちを育てることが大切である。</p> <p>・聞いて理解できたかどうかを確認するだけでなく、働くことの喜びや生きることの目的を考えさせるなど、キャリア教育の一環として本活動を活用することもできる。道徳や特別活動と関連付けて単元計画を立てると</p>	デジタル教材

		<p>よい。 T: What are they? What do you think about them?</p>	
<p>10分</p>	<p>【STORY TIME】 p.65 ・デジタル教材からライム (押韻) の単語とそれらが含まれる文を2～3回聞く。 ・音声のあとに続いて言う。 ・ライム (押韻) している単語だけを読み出す。</p>	<p>・本単元で学習した表現が含まれている文を読むようにし、ライム (押韻) を通して子音の復習と母音への気付きを高める。ここで取り扱うライム (押韻) は /-éik/。 T: Listen to the rhyme. Repeat after that. Repeat after the rhyming words.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>My father is a baker. I want to be a baker, too. I want to bake bread. I want to make cakes. You can enjoy shakes at my shop, too. Bake bread and make cakes and shakes.</p> </div>	<p>デジタル教材 児童用テキスト</p>
<p>4分</p>	<p>・本時の活動及び単元全体を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。</p>	<p>・本時及び単元のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>